

岡山県農林業実践学習の里 体験学習農園

～ 農業に興味を持たせ、一人でも多くの就農者を育てる ～

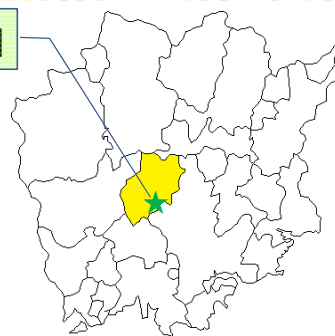
農園は、岡山県中央部に位置する吉備中央町にある標高280メートルの吉備高原の東側に位置しています。当施設は、農林業を志す青少年等を対象に農林業を実践的に学習させ、その体験を通じてたくましい担い手の育成を図るとともに、小・中・高校生や都市在住者等の農作業や農村生活体験の場としても活用し、農林業に対する理解を深めることを目的として、昭和57年から緑豊かな自然の中に開設されています。

また、160年前の先人達の家屋等を移設し、保存・再現しており、参加者等が見学や自炊・宿泊体験ができる施設となっています。

取組主体

- 名称 岡山県農林業実践学習の里 体験学習農園
- 所在地 岡山県加賀郡吉備中央町竹部2617-2
- 代表者 塾長 小西 昇一
- 電話 0866-56-8040 FAX 0866-56-8045
- 団体 岡山県農林漁業担い手育成財団
- 所在地 岡山県岡山市北区内山下2-4-6 県庁南棟1階
- 電話 086-226-7423 FAX 086-226-2120
- HPアドレス <http://ninaiteokayama.or.jp/>

体験学習農園



岡山県

活動の動機・目的

農林業を志す青少年等を育成することとともに、農林業体験の参加者が、農林業の実践的な学習や生産から収穫までの体験をすることで、食育につなげることを目的にしています。また、我々の先人たちの家屋や生活用品、暮らしを知り、生活体験をすることで地域の伝統文化を伝承します。

活動の紹介

将来、農林業に従事する者以外でも、農業体験や講演、意見交換など、食育の実践活動のための会場として利用できる。



ほうれん草の
播種前の畝づくり



意見交換会風景



播種した後の管理作業



ぶどうの収穫



ハウストマトの収穫

体験学習農園

施設の概要

★ 体験できる農林作物等

- ・ 水田、畑、果樹園、ほだ場、自然林等の農地約16ヘクタールを所有。
- ・ 田植え・稲刈り、ハウス栽培(トマト・ほうれん草等)、さつまいも・大根等の露地野菜、ぶどう・もも・栗、しいたけ等の管理作業。
- ・ 講師は、外部から委託も可能。
- ・ 農場管理は、4名で作業。



ほだ場

★ 古い民家の活用

農村の伝統品や民家を移設・保存し展示することで、農村における生活や体験、くらしの文化等を学ぶ。



先人たちの家屋を利用した施設



古民家の施設見学・体験

★ 研修生宿舎・農業歴史展示館・生活展示館で、先人たちの暮らしぶりを見学・体験。

取組内容

★ 体験活動の運営

- ・ 活動は30年近くなり、体験された方が教諭になり、生徒を連れて体験をされる学校もある。
- ・ 毎年、田植え時期にリピーターが多く参加。
- ・ 農作物の播種期と収穫期が重なる時期が労働力面で苦勞。

★ 参加費の設定

基本的には、無料。 宿泊の場合は、宿泊料とシーツのクリーニング代を徴収。

★ 参加者の集め方

ホームページで参加者を募集。長年の活動による口コミ。

将来の夢(目標)

就農希望者は当然ながら、農林業体験をした方々が一人でも多く就農していただくことが、目的であり夢である。また、一人でも多くの方に農業に関心を持っていただくことが、やりがいであり喜びである。

体験学習農園 塾長: 小西 昇一



みんなの声

(参加者)

- ・ 農業は、しんどい作業であるが収穫は楽しい。人生すべてに頑張らなくてはならない。だから作業も頑張る。(岡山後楽館高等学校2年次 女生徒)
- ・ 自然の中で作業すれば癒やされる。今後も機会あれば体験したい。(同 男生徒)
- ・ 作業の後の弁当がとても美味しかった。刈り取った稲がこの弁当になる、生きるためにとても大事なものであると感じられた。(同 男・女生徒)
- ・ 生きていく上では「食」ということが欠かせない中、農業体験をすることで、食べ物のありがたみや感謝の気持ちなどを改めて感じるとてもいい体験・時間を過ごすことができました。(女子大生)

(スタッフ)

- ・ 事故もなく、楽しんで体験してもらうことが一番の望みである。
- ・ 農作業等の説明は、年齢により難しさはある。自然のすばらしさを作業を通し体験してほしい。
- ・ 作物を作る苦勞、収穫する楽しみを体験し、食を大切にすることを学んでほしい。



稲刈りとはずかけ作業